

令和元年9月10日

杉並区議会議長

井口 かづ子 様

文化芸術・スポーツに関する特別委員会

委員長 小林 ゆみ

文化芸術・スポーツに関する特別委員会活動経過報告書

文化芸術・スポーツに関する特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 令和元年6月14日

(1) 報告聴取

ア 令和元年度南相馬市との文化・芸術交流について

(ア) 日本フィル被災地支援活動への応援（通年）

- ・区と友好提携を結んでいる日本フィルハーモニー交響楽団は、東日本大震災以降、南相馬市などの東北地方を訪れ、音楽を通じた被災地支援活動「被災地に音楽を」を継続して行い、今年4月までに延べ263回実施
- ・区では、一昨年からの活動をふるさと納税制度を通じて応援

(イ) 「武者絵展」の実施（5月・12月）

- ・伝統行事「相馬野馬追」の応援企画で、プロのマンガ家やイラストレーターなど総勢100名が思い思いの武者の絵を描く「武者絵展」を、武者絵展実行委員会と共催で、年2回、区役所区民ギャラリーで実施
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のテーマの1つである「復興」の公認プログラムとして認定

(ウ) 南相馬写真展の巡回展示（6月～7月）

- ・区とNPO法人が協働で展開している「まちなかギャラリー」にて、相馬野馬追フォトコンテストの巡回展示を実施

(エ) 南相馬市子ども文化芸術交流事業への参加（8月）

- ・南相馬市が交流している自治体と南相馬市の小中学生との共同により芸術作品を制作
- ・区立中学校の生徒と、講師として女子美術大学の教授・生徒が参加する予定

イ 永福体育館を活用した事前キャンプ実施に伴う協定の締結について

(ア) 経過

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、区内のスポーツ振興、地域の活性化につなげる取り組みとして、事前キャンプ誘致を実施
- ・イタリアオリンピック委員会から、永福体育館に整備したビーチコートを活用して事前キャンプを実施したい旨の申し出があり、協定を締結

(イ) 協定の概要

- ・永福体育館の利用期間は、令和2年7月14日（火）～22日（水）

【杉並区】

- ①永福体育館の全館を占有利用させる
- ②イタリアビーチバレーボールチームの移動の調整
- ③施設利用のためのボランティアによるサポート
- ④トレーニングパートナーの調整
- ⑤医療機関の紹介

【イタリアオリンピック委員会】

- ①ウエルカムパーティへの参加
- ②杉並区民への練習の公開
- ③東京 2020 大会以後の継続した交流
- ④ワールドツアー東京大会における事前キャンプ地としての活用
- ⑤可能な範囲でホームステイプログラムへ参加

(ウ) 事業にかかる経費

- ・イタリアビーチバレーボールチームが交流事業等に参加することを条件に事前キャンプに係る経費の一部を区が負担
- ・区が負担する経費は、都の補助制度を活用

(エ) 調印式及びレセプションの実施

- ・日時は、令和元年5月9日（木）午後4時～6時30分
- ・参加者は、CONI 事前合宿統括責任者、イタリア大使館文化・広報部

(オ) 今後の予定

- 令和元年6月 永福体育館にて区主催のプレ事前キャンプイベントの開催
- 令和2年6月 大会出場者が最終確定
- 令和2年7月 事前キャンプの実施

ウ 東京 2020 オリンピック聖火リレーの実施日等について

(ア) 全国及び東京都における聖火リレーの日程

- ・全国 令和2年3月26日（木）～7月24日（金）
- ・東京都 令和2年7月10日（金）～7月24日（金）

(イ) 杉並区における聖火リレーの実施日

令和2年7月18日(土)の1番目(午前10時頃にスタート)

(ウ) 東京都における走行日程

- ・7月10日に世田谷の駒沢オリンピック公園をスタートし、多摩地域、島嶼部を経て、18日から区部を巡回
- ・7月18日は、杉並・中野・練馬の3区を走行

(エ) 聖火ランナーの募集概要

- ・走行希望の都道府県にゆかりがある方
- ・火を扱うため、年齢の制約がある(平成20年4月1日以前に生まれた方)
- ・応募先は、4つの聖火リレーのパートナー企業、各都道府県の聖火リレー実行委員会
- ・各応募先で選考し、東京2020組織委員会に推薦した後、同委員会が決定し、令和元年12月以降に発表